



# 五中だより

府中市立府中第五中学校

校長 酒井 泰

平成30年2月28日 No.10

## 後期学校評価アンケートのまとめ

保護者の皆様にご協力いただきました後期の学校評価アンケートの結果がまとまりましたので、3学年分をまとめた学校全体の数値をお知らせいたします。

また、自由記述として保護者の皆様からいただいたご意見・ご要望等につきましても、その代表的なものを掲載させていただき、学校の考えも併せてお知らせいたします。今回の学校評価の結果を次年度以降の教育活動の改善及び一層の充実に役立ててまいります。ご多用の中、アンケートにご協力いただきましたことに深く感謝申し上げます。

| ご意見・ご質問                                                                            | 学校の考え                                                                                                                                                                                                        |
|------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 教科及び担当の先生によって評価の観点や規準が異なっているのに、そのことの説明が十分行われていないように感じます。                           | 評価の観点や規準については、年度の初めのガイダンスの折に教科担当の教員から説明をします。また、各単元等における評価の観点等についても授業で説明をしています。ご指摘を受け、今後一層、丁寧に説明を行うことで、生徒や保護者の皆様の十分な理解を得られるよう努めてまいります。                                                                        |
| 学校評価アンケートでの評価や意見、要望が反映され、学力面については、少しずつ改善されているように感じます。ただ、教科によってはまだ学力の差があるように感じられます。 | 全ての教職員が、学校評価でいただいたご意見等を確実に改善に役立てるとの意識をもつようにしています。特に生徒の学力向上は重要な教育課題であります。毎回の授業で「ねらい」を明示し、その授業で身に付けるべき内容を生徒に意識させること、教材を工夫し、学習意欲を高めることなど、各教科各担当教員は日々、指導を工夫し、「分かる授業」を目指しています。これからも全ての教科で一層、学力の向上が図られるよう努めてまいります。 |
| この学校評価アンケートについては、項目によっては、保護者の立場から答えにくいものもあるように感じます。                                | 学校評価については、前年度に限らず、数年間の変化を見るため、質問項目の変更はここ数年最小限にとどめてまいりました。しかし、今回ご指摘いただいたことを受け、質問項目についての検討を行い、次年度以降の学校評価の改善に生かしてまいりたいと思います。                                                                                    |
| 英語検定や漢字検定などの学校外の情報も保護者に伝えていただければ助かります。                                             | 民間の検定機関が様々な検定を実施しています。これは、学校の授業とは別のものであり、受験については、ご家庭の判断となるものです。しかし、現在、こうした検定の取得が進路決定の際の参考とされる場合があります。これからも学校に届いた検定等の案内については、生徒を通じて提供してまいります。                                                                 |

## 人の印象は15秒で決まる？

3年生は、受験が終盤となり多くの私立高校等の結果が出て、来月1日には都立高校の結果が出ます。生徒たちは、今回の受験を皮切りに、これからの長い人生の節目節目に面接を受けることとなると思います。先日の放送朝礼で私は、生徒たちに次のような話をしました。

3年生の受験に際しての面接に限らず、皆さんは、よく、「人は第一印象が大切。服装を整えなさい」と言われるのではないのでしょうか。「うるさいなあ。もう、わかっているよ」「いちいち言わなくてもきちんとできています」

「ちっともできていないじゃない」「バッチが曲がっているよ」などという会話をするのもあるのではないのでしょうか。

「人の印象は、出会って15秒で決まる」いや「人によっては3秒から5秒で決まる」という人もいます。

人は何かを判断するときに、話の内容などの聴覚情報よりも、容姿などの視覚情報を最も信頼するのだそうです。第一印象はとても重要で、一度刷り込まれた印象は、なかなか書き換えることができないと言われます。

その割合はどのぐらいなのかというと、身だしなみ、表情、目線、身のこなしという「視覚情報」が55%、あいさつ、声のトーン、言葉遣いという「聴覚情報」が38%、会話の内容などの「その他」がわずか7%となっています。

これは「メラビアン法則」と言われ、アメリカのカリフォルニア大学ロサンゼルス校の名誉教授で、心理学者である、アルバート・メラビアン氏が「印象を決める3大要素の割合」として紹介したものです。

いま、紹介したように55%と、視覚（見た目）が相手の印象を決める3要素の中でも半分以上の割合を占めています。確かに、言葉を交わす前にその方の佇まいや体格、服装、更に髪が手入れされているかなどが、一度にパッと視界に入ってきてしまいますよね。

次の38%の聴覚（声）については、相手の声のトーンや話すスピード、また語尾や一人称、更には「癖」などで、相手の方の性格を大体イメージしてしまいます。

最後の、その他「言語」（話す内容）については、わずか7%というのは、初対面だとお互いに気を遣ったり、緊張したりしてありきたりなお話をして終わってしまう可能性もあるので、言葉の情報量が少ないために、判断基準の割合が低いのだと思われます。

しかし、いずれにしても、「見た目」で印象のほとんどが決まり、一度、こういう人だと思われたら、それを変更することは結構難しいということが重要であると思います。「人は見た目ではわからない」「パッと見て何がわかるんだ」という人もいます。確かにその人の本当の良さや素晴らしさは長い間、付き合ってから初めてわかることかもしれません。しかし、世の中で出会う全ての人と、十分に話して互いに深く理解するチャンスがあるとは思えません。みんなであってほんのわずかの時間の、本当にわずかしかな時間の判断で、その人をどのような人かを判断し、付き合っていく際の基準を決めてしまうのです。他人からどう見られているのかを意識してみることが大切です。自分の姿、立ち居振る舞い、言葉遣いなどを、時には、第三者的にどのように相手に見えるのかを考えてみてください。

保護者の方や先生たちが「服装をきちんとしましょう」「言葉遣いを丁寧に」という理由の一つを理解してくれれば、とてもうれしいです。

## 学校公開(作品展と尺八公演会)について

すでにご案内のとおり、3月2日（金）及び3日（土）は作品展となっています。この一年間に生徒が各教科や部活動で制作した作品や委員会活動で行った調査結果の発表があります。生徒たちが精魂込めて作り上げた作品は、素晴らしい出来栄のものばかりですのでぜひご覧いただきたいと思います。

また、3日（土）の午前10時から、世界で活躍されている尺八奏者の「きのはち」さんをお迎えして、尺八講演会をアリーナで開催いたします。多くの保護者や地域の方々に参観していただきたいと思います。